

(学年) 1 学年、(教科・科目) 社会福祉基礎

一斉学習

(単元) 生活を支える社会福祉・社会保障制度

(本時のねらい)

社会保障の基本的な仕組みと社会福祉の各分野が生まれてきた社会背景や概要などに関する学習活動を通して、各制度の意義や役割、現状と課題について理解できるようにすることがねらいとされている。そのためには、さまざまな社会保障制度について具体的に理解し、地域社会における課題解決に取り組む態度を育むとともに、生きていく中で何らかの困りごとや生きづらさを抱えたときに、生活の支えとなる法律や制度、それらに基づくサービスがあることを理解することが必要である。

(ICT 活用方法)

プレゼンテーションソフトを使用して、日常生活におけるリスクや最低限度の生活についてイラストを見せることで簡潔に分かりやすく説明する。また授業支援クラウドアプリを使用して考えをまとめることで、生活保護制度の基本的な仕組みについて学ぶことを意識付けさせる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 5 分	・ 本時の目標を確認する。	・ 本時の流れを示す。	
展開 40 分	・ セーフティネットについて考える。 ・ 生活保護制度の基本原理・基本原則について理解する。 ・ 生活保護の種類について、理解する。	・ 最低限度の生活とは何か考えさせる。 ・ 生活保護の 4 原理と生活保護の 4 原則について、具体的事例を併せて説明する。 ・ 各給付の内容について、どのようなものがあるか、まとめて共有させる。	・ プレゼンテーションソフトで説明する。 ・ 一人一台端末を用いて授業支援クラウドアプリに意見を記入させる。 ・ 一人一台端末を用いて授業支援クラウドアプリに意見を記入させる。
まとめ 5 分	・ 本時の内容を振り返る。		

(授業の様子)



教材投影方法



教材投影方法



授業支援クラウドア

(プレゼンテーションソフト) (授業支援クラウドアプリ) プリを活用した個別学習

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

多くの生徒が一人一台端末を活用して課題に取り組むことができた。授業支援クラウドアプリを活用した個別学習と積極的に取り組むことができ、一人一台端末の操作もほとんどの生徒が習得している。今後は、更に一人一台端末を活用し、グループワークを通じた情報共有の場を有効に取り入れ、意見発表を積極的に行いたい。